

六日所史

民俗



目次

口絵
発刊のことば
はじめに
凡例

南魚沼市長 林 茂男
南魚沼市郷土史編さん委員会 委員長 今成卓而

第一章 くらしと環境

第一節 地域の自然とくらし

1	六日町地域の概要	2
	六日町の沿革	
	六日町の自然環境	
2	雪とくらし	4
	雪の降る時期	
	その年の大雪・小雪を知る	
	雪による野菜の保存	
	春の訪れと仕事	
	雪に備える雪囲い	
	屋根の雪掘り	
	雪道を付ける道踏み	

第二節 家に住まう

目次

1 屋敷 11

屋敷の中 キニユウバとイナニユウ 屋敷内での畑 タナと生活用水 井戸のある家 大切な蔵

作業小屋 家を守る内鎮守

2 家の間取りとくらし 16

本屋と中門 前中門と裏中門 土間だったニワ 囲炉裏のあるくらし 神棚・仏壇のある茶の間

正客を迎える座敷 収納空間だったオオゾラ 水屋と水船 飯を炊く竈 ポチャともらい湯

夜暗いアツパンジヨ

3 屋根と壁 26

茅葺き屋根と木羽屋根 茅葺き屋根の葺き替え 木羽屋根 粘土を塗った土壁

第三節 田畑を耕す

1 稲作と水田 29

水田を希求する村 千刈百姓 水田の大きさと形 畑をアラタにする 開田と土地改良事業

2 米作りの一年 31

豊作を願う小正月行事 雪上の肥引き 肥散らし 作を占う 江浚い 苗代へのスジ播き

機械植え用の苗 田のアゼカケ 田打ち 田うない 田掻き 鼻取りとホトラ

田植えの時期と大田植え 様々な田植え人足 苗取りと苗運び 苗打ち 田植え 田植えの食事

第四節 ボコサマを飼う

- 3 畑の作物と仕事
 - サナブリ 仕事をしない日 畔豆 大切な水見 田の草取り 稗抜き 稲刈り 地干し
 - ハゼカケ 刈り上げ コメゴシラエ センダクブルマイ

- 畑作物 セツツエ畑 ハッタイモ ソバ ダイコン スイカ 花卉 禁忌 カンノ

1 養蚕の概要

大事な収入になった養蚕 養蚕の主任は女性

2 養蚕の一年

豊蚕を願う行事 桑畑の手入れ ボコサマを迎える準備 種屋と蚕種の催青 ボコサマの掃き立て
 忙しかったハルゴ 桑くれ 桑のくれ方 桑の貯蔵 ウラタテ 蚕座の扨座と乾燥 ボコサマの上蔭
 株返し 繭掻きから出荷 蚕出し合い ナツゴの飼育 アキゴと稲刈り 晩秋蚕

3 蚕具・山桑・共同施設・蚕の病気

蚕座のヘギ・ワラダ 蚕棚のある生活 板の間やタレでの飼育 マブシの変遷 山桑・地桑
 共同施設での飼育 ボコサマの病気

第五節 山の恵み

目次

1 燃し木としての利用 87

山の区分 山の境 柴木とコロ 春山 春山のエエッコ 流れ着くヨロッキ 草刈りの山の口

2 山で稼ぐ 荒廃する山

山稼

炭焼き クマ狩り

第六節 川の恵み

1 渡し船と川漁

渡し船 川漁師と漁業協同組合

2 川漁の一年

カジカ漁 ハヨ漁 アユ漁 サケ漁 サケより金になったマス

第二章 ぐらしのなかの共同、ぐらしのなかの交流

第一節 村意識と村組織

村意識

六日町(大字)

坂戸

欠之上

君帰

大月

土沢

永松

新堀(大字)

田崎

第二節	青年団	125
	青年団の変遷	
	新堀(大字)	
	六日町(大字)	
	永松	
	土沢	
	坂戸	
	田崎	
	君婦	
	青年団の役割	
第三節	家屋の建築と屋根葺きの共同	130
	家屋の新築	
	屋根の葺き替え	
第四節	生活用水と風呂	135
	生活用水の確保と利用	
	入浴と風呂もらい	
第五節	防火と共同	139
	火災とくらし	
	火の用心の見回り	
第六節	雪と共同	141
	雪のくらし	
	雪掘り	
	道踏み	
	雪囲い	

第七節 入会・共有

共有地と割山 君婦 下原新田 土沢 欠之上 割山する山・しない山 割山しない共有山

第八節 生業と共同

地理的環境と生業 稲作と共同 新堀(大字)の共同の種浸し 肥引き 田打ちと作業委託
田植えと共同 用水の利用と管理 害虫駆除と共同 除草から収穫・脱穀まで センダクブルマイ
薬仕事と共同

第九節 本家分家関係とマキ

マキとくらし 六日町(大字) 坂戸 欠之上 君婦 上大月 永松 土沢 津久野下新田
新堀(大字) 田崎

第一〇節 信仰と共同

氏神と氏子 内鎮守 檀那寺と檀家 太夫様と法印様 墓地

第一節 冠婚葬祭における協力 211

葬送における協力関係 香奠帳からみえる協力 子どもの誕生

第二節 生活用具の共有 219

膳椀の共有 味噌煮釜の共有

第三節 年中行事における共同 226

一月／お日待 二月（小正月）／鳥追いとサイノカミ 三月／十二講 三月／百八燈 天神講 盆踊り

新しい行事

第四節 講―共同の祈りと助け合い 237

庚申講 二十三夜講 伊勢講 頼母子講・無尽講 鎮守講 甲子講 古峰講 戸隠講 不動講

苗場講 お題目講 浦佐毘沙門堂の多聞天萬人講 その他の集まり

次 第一五節 交流する人々 253

物の売買 祭りを見に行く・願をかけに行く 出稼ぎ

第一六節 共同・交流する六日町の人々 261

第三章 女性のくらし

第一節 女性の一生

1 子ども時代 266

 一家団欒 親戚 子守 背伸び 葬式

2 学校 268

 農作業 山の分校

3 戦中の学校生活 268

 疎開っ子 供出 卒業式 進路

4 娘時代 270

 裁縫 花嫁修業

5 生理 272

 初潮 生理帯 農作業と生理

6 結婚 273

 恋愛 許嫁 従兄妹婚 婿取り 見合い 結納 嫁入り道具 嫁入り支度 婚礼 初泊まり

変化

7 出産

妊娠 産着 陣痛 出産 出産の環境 産婆 母子手帳 へその緒 袈裟っ子 後産

産み月 名付け

8 子育て

赤ん坊の衣類 子どもの祝い おっぱい ツグラ

9 嫁と姑

嫁勤め 小姑 嫁今昔 姑自慢・母自慢 介護

10 楽しみ

里帰り 炬燵 嫁の集まり 旅行

11 古い

畑仕事 お茶飲み

第二節 女性と仕事

1 農業と女性

稲作 家畜 炭迎え 養蚕 真綿作り

2 越後上布(縮)

カラムシ畑 苧の売買 苧績み 縮と家事 機織 湿気 箆 絞り縮 絹機

3 仕事を持つ女性のくらし

304 298 296 294 291 287 284 280

4	製糸工場	糸引き自慢	商売	新聞屋	家政婦	自営業と嫁	保母	教師	309
	女性と社会								
	婦人会	選挙権	働き者						

第三節 暮らしと衣食

(一) 衣生活

1	自家製織物	絹織物	縞	分業	染織	310					
2	ハレの衣服	昔の帯	昔の着物	袂のある着物	喪服の変遷	羽織	紋付袴	仲人の服装	子どもの晴れ着	313	
	学校行事	年中行事と衣服									
3	日常の衣生活	野良着	山着物	カラムシ	ハンチョギ	モンからシャツへ	ブーツ	三尺	手甲	長股引	319
		カプチ股引	下衣の変化	サンパク	子ども用サンパク	サンパクのリフォーム	ミシン縫いのサンパク				
		膝当て	男性用サンパク	サンパクの作り方	日常の服	綿入れ	亀ん子	冬の服装	子ども服	下着	
		既製品のサンパク	靴下	履物	かぶりもの	風呂敷	布団	座布団	衣服の管理	虫干し	洗い張り
		オシメ	洗濯	リフオーム	リメイク	コブクロ	端切れ	雑巾			
4	衣類の購入										344

5	人並みとお洒落	345
	子ども時代	
	男子	
	女性	
	柄行	
	作り手側の気持ち	
	流行	
6	戦中の衣生活	349
	標準服	
	国民服	
	学校の衣生活	
7	身繕い	351
	風呂	
	洗顔	
	歯磨き	
	化粧	
	箱枕	
	パーマ	
	シャンプー	
8	くらしの変化と衣生活	354
	変化の姿	
	布資源の再利用	
(一)	食生活	
1	日常の食	356
	日常の食事	
	飯炊き	
	箱膳	
	大豆	
	醤油の実	
	味噌	
	すまし	
	豆腐	
	ウチマメ	
	副菜	
	油味噌	
	けんちん汁	
	漬物	
	果物	
	餅	
	イルゴ	
	コナカキ	
	ヤキモチ	
	アンボ	
	川魚	
	肉	
	山羊	
	ウサギ	
	鶏	
	卵	
	山菜採り	
	キノコ	
	茶	
	酒	
	弁当	
	マムシ	
2	行商	369
3	道具	369
	竹箕	
	食器	
4	第二次世界大戦と食生活	370
	戦中	
	戦後	

5	ハレの食	373
	おせち料理	彼岸	赤飯
		芝居	お見舞い
		食器	ツグラ
			酒宴
6	現在の食生活	377
	野菜	ジュンサイ	漬物
		山菜	キノコ
		餅	味噌
		川魚	石臼
			富山の薬売り

第四章 暮らしと儀礼

第一節 年中行事

1	正月	384
	(1) 正月を迎える準備	
	太陽暦の導入と二月正月	煤払い	すまし作り
		納豆五日	正月買い物
	新しく配られる神札や祈禱札	餅搗き	松を山から迎える
		注連縄を飾る	年貢を納める
	(2) 年取りと大正月	392
	年取りと年取り魚	二年参り	元日
		年始回り	仕事始め
	八坂神社の祭と新婚の胴上げ	七日正月	十一日正月と棚探し
	(3) 小正月から正月納めまで	399
	小正月の稲穂と団子飾り	小年取り	鳥追い
		サイノカミ	鳥呼ばり
			二十日正月
2	春から夏にかけての行事	406

第二節 人の一生と儀礼

1	出産と育児の儀礼	
(1)	妊娠から出産へ	432
	妊娠と妊婦の食事	戌の日に巻いた腹帯
		自宅出産から病院出産へ
		トリアゲバアサンと産婆
(2)	出産の前後	435
	産屋	出産
		へその緒と後産
		産湯
		オビタテメシ
		産屋見舞い
		産着
		産後の生活
		三日夜
3	門付けの訪れ	421
	賢女	春駒・チヨンガレ・祭文語り・浪花節
		虚無僧と庵主様
		カグラ
4	盆の行事	424
	盆踊り	盆泊まり
		盆はち朔日
		幕掃除
		盆
		盆の供え物
		新盆
		盆下駄
		地獄の釜が開く日
5	秋から冬にかけての行事	428
	八朔	十五夜様
		秋の彼岸
		刈り上げ
		センダクブルマイ
		タナカエ
		十日夜
		恵比寿講
	太子講	大師講

(3)	産婦の食事	産屋賄い	名付け	ヒトシチャとオスナマイリ	産屋明き	孫祝い	441
	子どもの成長を願って	お宮参り	食い初め	初節供	誕生祝い	七五三	
(4)	保育具と子守り	ツケラ	子守り	成人式			443
(1)	結婚の儀礼						
(1)	婚約の成立まで						444
(2)	祝言	結婚年齢	結婚相手の条件	スキガタリ	仲人	お茶	茶披露目
	祝言を挙げる	祝言の日取り	荷送り	遠迎え	タチハ	嫁の出入	嫁入れ
	嫁の人家とオチツキ	一礼	盃事	祝宴	窓裂き		荷背負い
	祝言が終わって						近迎えと嫁見
(3)	礼参り	お茶呼び・嫁見・鉄鑿付け	三日の祝い	里帰りとセンダクヤスミ			445
3	厄年と年祝い						457
	厄年と厄落とし	還暦の祝い	七七歳の祝い	八八歳の祝い			
4	葬送の儀礼						459
(1)	死の前後						
	葬礼	死の予兆	末期の水	死の連絡と相談	葬儀での役割	告げ	遺体の安置と枕元
(2)	葬儀の前日						枕団子
							463

第五章 くらしと楽しみ

第一節 芸能の楽しみ

湯灌	納棺	速夜	穴掘り	門牌	
(3) 葬儀の当日				467
甲いに来る客	葬儀から出棺へ	出棺	野辺送り	火葬の野辺送り	焼き場
身代わりの横槌	清め	お斎	御大儀	寺へのお布施	喪家のお祓い
葬儀後の供養				
(4) 壇引き	初七日	四十九日	年忌供養		477
1 歌舞伎				480
雪解け後の娯楽	芝居見物	芝居小屋	若い衆芝居		
2 唄と踊り				483
甚句	唄と踊りを習う	祝いの唄	イシバカチ		
3 やつてくる芸人				485
チョンガレ	ゴゼンボ	座頭	按摩	越後獅子	相撲見物

目次	
第二節 子どもの遊び	488
夏遊び	
冬遊び	
しりとり	
かるた遊びなど	
テレビ	

第三節 口承文芸

1 言い伝えと世間話	491
言い伝え	
木の葉の銭	
スキのお化け	
キツネにつまされたような話	
キツネの棺桶	
姑自慢	
2 昔話	496
昔が語られる場	
昔の語り始めと終わり	
イシヨウインムカシ①	
イシヨウインムカシ②	
ジク①	
ジク②	
侍と娘の話	
およう昔	
お松の池	
弥三郎婆さ	
オオタカゲンゴ	
いろいろな昔	
現在の子どもと昔	
3 語りから本へ	503
絵本	
朗読	
主な参考・引用文献	505
調査協力者一覧	508
執筆者一覧	510

郷土史編さん関係者名簿

あとかき

掲載写真・図版の出典一覧

付1 六日町の行政区名一覧

付2 六日町地域管内図